

こころのプロジェクト「夢の教室」

2月9日（火）、2年生を対象に、日本サッカー協会が主催する【こころのプロジェクト「夢の教室」】（提供 きらぼし銀行）を行いました。「こころのプロジェクト」とは、子供たちの心身の健全な発達に貢献していくプログラムとして、「DREAM ～夢があるから強くなる～」をスローガンに「夢」をテーマに日本サッカー協会が行っているものです。今回は、「夢先生」として元フットサル日本代表の小宮山友祐さんに、Zoomを通してお話していただきました。

<講師紹介>



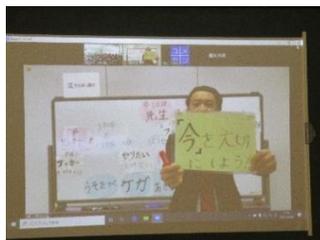
小宮山 友祐さん

神奈川県出身。小学1年でサッカー、高校3年でフットサルを始める。駒沢大学卒業後は、高校で教鞭をとる傍らフットサル選手としてプレー。守備のスペシャリストとしてプレーし、全日本フットサル選手権優勝に貢献、FIFAフットサルワールドカップに3度、AFCアジア選手権に7度出場したほか、2009年からは4年間キャプテンを務めた。2012年にはアジア制覇。引退後はフットサルの指導者として活動している。

<夢の教室の授業より>

「夢の教室」は、講師の小宮山先生の自己紹介に続いて、現在に至るまでのエピソードや自らが経験した挫折や苦難についてお話いただきました。今日の小宮山先生からのメッセージに「今を大切にしよう」という言葉がありました。その他にも「自分自身に嘘を付くのは良くない」「目標には期限があるが、夢には期限がない」「夢には正解も不正解もない」等といったお話もいただきました。また、生徒は「夢シート」に自分の夢、今自分が頑張っていること、今後夢のためにできることについて記入し、自らを見つめ直すことができました。「夢シート」は小宮山先生に送り、一人一人にメッセージが書かれて返却されます。

<授業の様子>



【2年A組】



【2年B組】

<< 生徒感想より >>

「今を大切にしよう」という言葉を軸に、たくさんのことを学ぶことができました。勝敗のつく競技は、どんなに負けていても、試合の後にしっかり考えたり行動したりすることで、「負け」ではなく「勝ち」か「引き分け」か「学び」になると思いました。僕は、改めて今から夢をもち、夢に向かって走っていこうと思います。